



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 マルシェ株式会社  
 コード番号 7524 URL <http://www.marche.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 加藤 洋嗣  
 (氏名) 藤原 徹二  
 配当支払開始予定日

TEL 06-6624-8100  
 平成28年12月9日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,469	△9.6	22	△58.9	38	△51.9	0	△99.2
28年3月期第2四半期	4,942	△4.9	55	12.8	80	△7.1	50	△50.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	0.05	—
28年3月期第2四半期	5.97	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	5,049		3,081			61.0
28年3月期	5,267		3,116			59.2

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 3,081百万円 28年3月期 3,116百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	△4.6	35	△72.6	82	△53.0	90	—	11.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	8,550,400 株	28年3月期	8,550,400 株
29年3月期2Q	521,638 株	28年3月期	521,598 株
29年3月期2Q	8,028,791 株	28年3月期2Q	8,398,802 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
4. 補足情報 .....	7
〔参考〕業態別出退店の状況 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策等により企業業績や個人消費は緩やかな回復基調で推移したものの、景気の先行きは円高などにより、不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、一部景気回復の兆しはあるものの、台風や大雨などの天候不順や採用難からの人手不足などにより、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社は「既存店の立て直しによる改善」、「教育による営業力の向上」、「事業規模拡大」等を対処すべき課題として捉え取り組んでまいりました。

「既存店の立て直しによる改善」として、酔虎伝では地元の人が愛してやまない東海グルメを集めた「東海紀行」フェアを、八剣伝では本まぐろを使用した「日本うまいもの紀行」フェアを、居心伝ではタコスから発展した沖縄では馴染みの深い鉄板タコライスを採用した沖縄フェアやタイフェアを、また8月には酔虎伝、八剣伝、居心伝共通の「せんべろ祭」フェアを開催いたしました。

「教育による営業力の向上」では、4月より「マルシェキッチンアカデミー」を開講し、社員の調理技術の向上に努めてまいりました。

「事業規模の拡大」として、本格炭火焼き鳥店の「炭火焼 八剣伝」を次世代の八剣伝に進化させた業態、食材の鮮度にこだわり、旨いものがお値打ち価格で食べられるお店「串焼酒場 心八剣伝」を京都山科店でリニューアルオープンしました。

このような取り組みを行ってまいりましたが、前期からの店舗数の減少、来客数の減少等から売上高の減少、また、「中期経営計画(3ヵ年計画)」の初年度としてその計画遂行に要する店舗改装費用等の増加により、当第2四半期累計期間における経営成績は、売上高は4,469,758千円(前年同期比9.6%減)、営業利益は22,934千円(前年同期比58.9%減)、経常利益は38,848千円(前年同期比51.9%減)、四半期純利益は384千円(前年同期比99.2%減)となりました。

#### 【当第2四半期の業績の概況】

	前第2四半期 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	当第2四半期 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	対前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	4,942	4,469	△473	△9.6
営業利益(百万円)	55	22	△32	△58.9
経常利益(百万円)	80	38	△41	△51.9
四半期純利益(百万円)	50	0	△49	△99.2
1株当たり四半期純利益	5円97銭	0円05銭	△5円92銭	△99.2

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産、負債及び純資産の状況

資産、負債、純資産及び自己資本比率の状況は下記の通りとなります。

(単位：百万円)

	28年3月期末	当第2四半期末	増減
資 産	5,267	5,049	△218
負 債	2,151	1,967	△184
純 資 産	3,116	3,081	△34
自己資本比率 (%)	59.2	61.0	1.8

当第2四半期会計期間におきましては、現金及び預金135,664千円の減少、店舗数減少に伴う売掛金55,049千円の減少等により、総資産が前事業年度末に比べ218,471千円減少し、5,049,204千円となりました。

負債は、店舗数減少に伴う買掛金54,853千円、未払金62,013千円の減少、未払法人税等27,382千円の減少等により、前事業年度末に比べ184,087千円減少し、1,967,585千円となりました。

純資産は、配当金の支払いによる利益剰余金39,759千円の減少等により前事業年度末に比べ34,384千円減少し、3,081,619千円となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました予想に変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

### (2) 追加情報

#### (繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

### 3. 四半期財務諸表

#### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,233,741	2,098,076
売掛金	455,748	400,698
商品及び製品	17,753	20,755
原材料及び貯蔵品	40,072	38,183
その他	176,322	216,399
貸倒引当金	△320	△300
流動資産合計	2,923,317	2,773,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	809,475	777,840
土地	223,905	223,905
その他(純額)	48,175	48,107
有形固定資産合計	1,081,556	1,049,853
無形固定資産	99,352	88,034
投資その他の資産		
差入保証金	879,046	853,452
その他	305,791	300,601
貸倒引当金	△21,388	△16,550
投資その他の資産合計	1,163,449	1,137,504
固定資産合計	2,344,359	2,275,391
資産合計	5,267,676	5,049,204
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	644,853	590,000
賞与引当金	71,388	71,200
株主優待引当金	29,390	29,672
その他	686,545	573,857
流動負債合計	1,432,178	1,264,731
固定負債		
資産除去債務	151,632	147,197
その他	567,862	555,656
固定負債合計	719,494	702,853
負債合計	2,151,672	1,967,585
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,510,530	1,510,530
資本剰余金	1,619,390	1,619,390
利益剰余金	350,328	310,569
自己株式	△452,992	△453,025
株主資本合計	3,027,256	2,987,463
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	88,747	94,155
評価・換算差額等合計	88,747	94,155
純資産合計	3,116,003	3,081,619
負債純資産合計	5,267,676	5,049,204

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,942,872	4,469,758
売上原価	2,133,578	1,927,513
売上総利益	2,809,293	2,542,245
販売費及び一般管理費	2,753,486	2,519,310
営業利益	55,806	22,934
営業外収益		
受取利息	1,143	1,529
受取配当金	1,552	1,502
受取家賃	9,273	9,649
解約返戻金	6,004	3,492
その他	9,343	13,701
営業外収益合計	27,318	29,874
営業外費用		
支払手数料	385	399
たな卸資産廃棄損	244	588
デリバティブ評価損	-	12,956
その他	1,801	16
営業外費用合計	2,430	13,960
経常利益	80,694	38,848
特別利益		
固定資産売却益	5,658	3,255
特別利益合計	5,658	3,255
特別損失		
固定資産除却損	1,778	16,837
固定資産売却損	-	206
減損損失	10,967	3,314
賃貸借契約解約損	3,154	3,416
特別損失合計	15,900	23,773
税引前四半期純利益	70,452	18,330
法人税等	20,351	17,945
四半期純利益	50,100	384

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年6月19日開催の第44回定時株主総会決議により、同日付で会社法第448条第1項の規定に基づき資本準備金802,663千円を減少し、その他資本剰余金に同額振り替えるとともに、利益準備金全額を減少し、繰越利益剰余金に振り替えました。また、会社法第452条の規定に基づき、別途積立金全額を取崩し、繰越利益剰余金に振り替えました。



#### 4. 補足情報

〔参考〕

業態別出退店の状況

		前事業年度					当第2四半期				
		自 平成27年4月1日					自 平成28年4月1日				
		至 平成28年3月31日					至 平成28年9月30日				
		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数	
	増減数					増減数					
直 営 店	酔 虎 伝	14	0	0	14	0	14	0	1	13	△1
	八 剣 伝	74	0	10	64	△10	64	0	5	59	△5
	居 心 伝	35	0	4	31	△4	31	0	3	28	△3
	海 心 丸	4	1	0	5	1	5	0	2	3	△2
	串 ま ん	4	1	2	3	△1	3	0	1	2	△1
	八 右 衛 門	3	1	0	4	1	4	0	0	4	0
	バ ル ビ ダ	8	2	0	10	2	10	0	1	9	△1
	そ の 他	4	0	0	4	0	4	1	1	4	0
	小 計	146	5	16	135	△11	135	1	14	122	△13
F C 加 盟 店	酔 虎 伝	24	0	1	23	△1	23	1	1	23	0
	八 剣 伝	335	9	20	324	△11	324	4	17	311	△13
	居 心 伝	25	2	2	25	0	25	0	0	25	0
	そ の 他	21	1	3	19	△2	19	1	1	19	0
	小 計	405	12	26	391	△14	391	6	19	378	△13
	合 計	551	17	42	526	△25	526	7	33	500	△26